

3224MHz対応アッテネーター (電流通過型)



Model **FAT**□**PE**

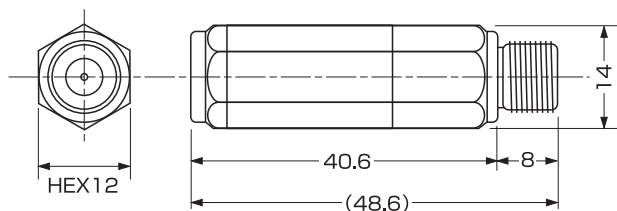
●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



HSマーク(ハイシールドマーク)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)で審査・登録され、衛星テレビジョン放送の中間周波数帯域において、一定以上の遮へい性能を有する機器に付与されるシンボルマークです。

外観図

単位: mm



取り扱い上の注意

- 本器の接続は必ず接続機器の電源を切っておこなってください。故障の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、ケーブル、機器にはふれないでください。感電の原因となります。
- 高所での機器取付作業には、足場の確保や機器、工具などの落下防止対策をおこなってください。けがの原因となります。
- 本器を分解、修理、改造しないでください。故障の原因となります。
- 浸水による故障を防ぐため、屋外使用時は必ず防水キャップまたは防水補助テープで防水処理をおこなってください。
- 接栓は適正トルク以上で締付けしないでください。締付けが過度になると破壊や故障の原因になります。また、適正トルク以下では接栓の接触不良による性能低下の原因となります。

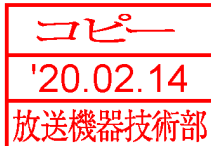
ポイント

- F型接栓の適正締付トルクは2.0N・m(約20kgf・cm)です。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外形が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。(※同軸ケーブルを取換える場合は、取換え前と芯線の外形が同じ同軸ケーブルをご使用ください。)
- 屋外用機器に接続する場合は必ず防水キャップ(別売)または防水補助テープ(別売)をご使用ください。防水キャップは長さ100mm以上のものをご使用ください。
- 4K8K放送に対応したシステムにする場合、使用機器・同軸ケーブルなどはすべて3224MHzまでの周波数帯域で性能が保証されているものをご使用ください。

性能表

型名	周波数帯域 (MHz)	減衰量 (dB)	電圧定在波比 (以下)	漏洩電界強度 (dBμV/m以下) ※1	質量 (g)
FAT3PE	10~70	3.0±0.6	1.5	34.0	21
	70~770	3.0±0.6	1.5		
	770~1489	3.0±0.6	1.5		
	1489~2150	3.0±0.6	1.8		
	2150~2681	3.0±0.8	1.8		
FAT6PE	2681~3224	3.0±1.0	1.8	40.2 ※2	
	10~70	6.0±0.6	1.5		
	70~770	6.0±0.6	1.5		
	770~1489	6.0±0.6	1.5		
	1489~2150	6.0±0.6	1.8		
FAT10PE	2150~2681	6.0±1.0	1.8	40.2 ※2	
	2681~3224	6.0±1.0	1.8		
	10~70	10.0±0.8	1.5		
	70~770	10.0±0.8	1.5		
	770~1489	10.0±1.0	1.5		
FAT15PE	1489~2150	10.0±1.0	1.8	40.2 ※2	
	2150~2681	10.0±1.0	1.8		
	2681~3224	10.0±1.0	1.8		
	10~70	15.0±1.0	1.5		
	70~770	15.0±1.0	1.5		

- 使用温度範囲: -20℃~+40℃(本体周囲温度)
入力端子と出力端子間 電流通過 最大DC15V・0.8A/AC30V・1A
- ※1 3m法による。 ※2 周波数帯域、1000~3224MHz



お客様窓口

0570-091039

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30
(土・日祝祭日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8
(ホームページアドレス) <https://www.nippon-antenna.co.jp>
※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
5116099 2020年1月